

蕨 広報WARABI 11

2008/平成20年
わらび・684

- 平成20年11月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 10月1日現在人口：71,322人 前月比 +28人
男 36,488人 女 34,834人
世帯数：34,944
人口密度：13,984人/km²



カキ取り手伝う子どもたち やった～！これ甘そうだよ

「熟したカキが道路に落ちて、お掃除が大変」と聞いた東公民館では、留守家庭児童指導室の子どもたちに敷地内のカキの収穫を手伝ってもらいました。大きさはゴルフボールほどでちょっと小さいけれど、「おやつに食べたらとっても甘かった」と、みんな大喜びでした。

——— 目 次 ———

- 特集／防災を考える……………2
- リポートそこが知りたい…6
- まちの話題……………7
- いきいきシルバーライフ…8
- 蕨いま むかし……………9
- 親と子のニュースの小窓…10
- 輝いていま ひと……………12
- わらびの野鳥・虫・草………12

<特集：防災を考える>



▲市立病院から蕨駅西口方面を望む

日本一超過密な都市 まちの安全性が心配

来年市制50周年を迎える蕨市は「生活する都市」として発展し、5.1平方キロメートルという日本一小さな市域に、約7万人のかたが居住する人口密度も日本一の市です。こうした狭い市域の利点を生かして、蕨市は、昭和40年代から市民の皆さんと行政が一体となって、思いやりのあるコミュニティ作りに取り組んでいます。

一方、市域が狭く、過密なまち並みのため、消防車などの緊急車両の入れない狭隘な道路や古い木造住宅の密集する地域もあり、まちの安全性に

自助・共助・公助の充実で 災害に強い地域の力を！

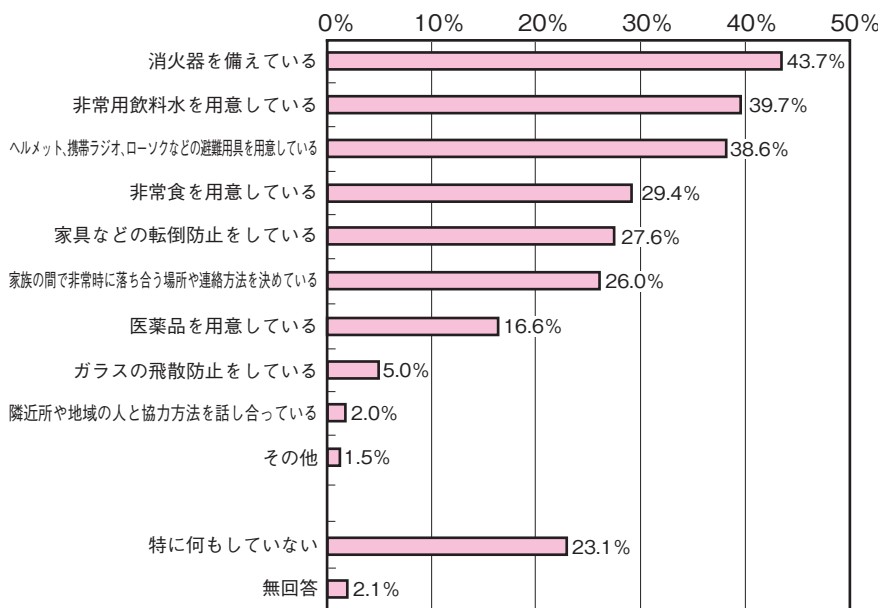
対する皆さんの防災への関心は、とても高くなっています。

地域での信頼関係が 防災の能力を高める

市では、魅力あふれるまちづくりを進めていくため、毎年、市民の皆さんから市政に対する要望や意見をお聞きする「市民意識調査」を実施しています。その調査項目の1つに、市民の皆さんのいちばん関心のある政策として、必ず上位に挙げられるのが「防災・消防・救急体制」の充実です。

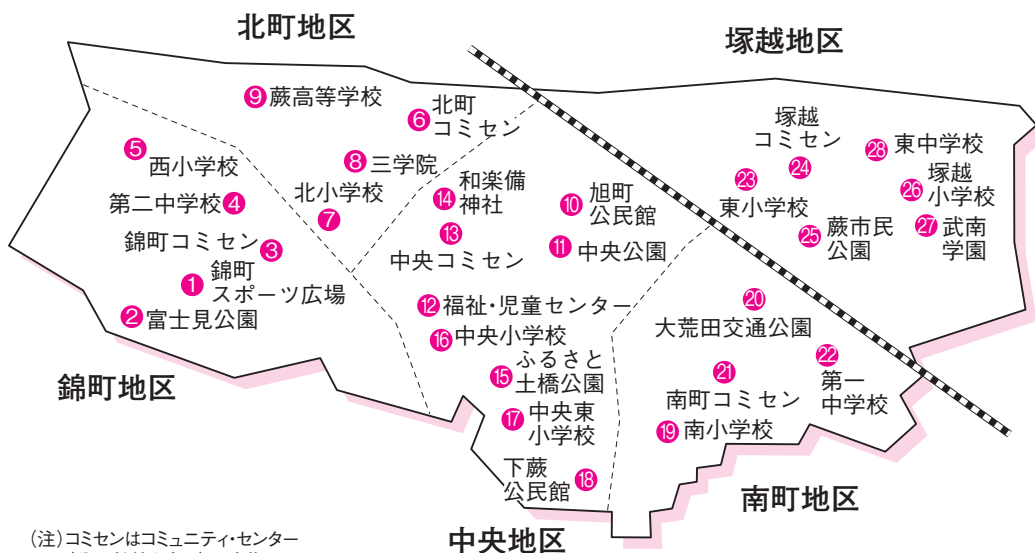
また、「災害について」の項目（下表参照）では「消火器を備えている」「非常用飲料水を用意し

平成19年度市民意識調査の「災害について」



突然やってくる災害に備えて、行政の対応とともに、ご自身の身の安全を守りながら、隣近所の人たちと協力して被害を食い止めることがたいせつです。そこで、災害のときに重要な自助・共助・公助を考えます。

市内に28か所ある指定避難場所位置



(注) コミセンはコミュニティ・センター
(公民館等を含む)の略称

ている」など、多くの人が
なんらかの防災への備え
をしているという結果が
出ています。

市といったしましても、
地震に強い市街地の整備
や耐震性貯水槽の設置を
はじめ、災害時には地域
住民の避難場所になるな
ど、重要な役割を担う学

校や、ライフラインの安
全性を第一として、浄水
場や下水道のポンプ場な
どの耐震化も計画的に進
めています。

しかし人間の力ではど
うすることもできない自
然災害に対しては、行政
だけの力では限界があり
ます。そこでたいせつに
なるのは、災害に、慌て
ず対応できる市民1人1
人の力と、お互いを助け
合う心です。

コミュニティ活動が盛
んな蕨市では、地域の信
頼関係を広げながら防災
力を高めることは、決し
て難しいことではないと
考えています。

災害の基本は「自助」 まず家庭内で確認を

災害の被害を最小限に
抑えるには、「自助・共助・
公助」の取り組みと連携
が必要です。

「自助」は、みずからの
手で家族や財産を守る備
えと行動のことで、防災
の基本となるものです。

いざというときのため
に、家庭内備蓄は欠かせ
ません。特に、1人1日
に最低でも3リットルが必要と

される非常用飲料水や食
料などは、ご家庭の状況
に合わせて確保すること
が望ましいと考えられま
す。そのほか、災害時に
どのような行動を取るべ
きか、ふだんからの対策
をご家庭で話し合うこと
もたいへん重要です。

また、「共助」は、隣近
所の人たちと協力して、
地域を守る備えと行動の
ことです。

防災の備え は家族を思 う気持ちで



まつむら あきこ
松村 章子さん
塚越3丁目

小さな子どもがいる私にとっ
て、もしものときの対処方法
はとてもたいせつです。自宅
には飲料水や消火器、カセッ
トコンロなどを常に備えるこ
とを心がけ、また、避難場所
とその経路の確認や市外に通
勤する夫との連絡方法もよく
話し合っています。「防災の
ために…」と考えると不安
になるので、「この子たちを
守るには…」と考えています。

組織されています。
隣近所の皆さんと協力
して、被害に遭った人た
ちを救助する役割などを
担う自主防災会は、地域
の連携を深めながら、助
け合いの精神も高めてい
ます。

では、引き続き4ページで、
自主防災会の1つ、中央
3丁目土橋町会の取り組
みをご紹介します。



▲北町児童館の「親子防災用具点検」

金具で家具転倒防止 皆で支える共助の心

中央3丁目土橋町会の自主防災会（庄野昌夫会長）では、災害時に凶器となりえるたんすなどの家具が倒れないよう「家具転倒防止金具無償取り付け」を行っています（右写



中央3丁目 土橋町会の 自主防災会

たかはぎ わたる
高萩 弥 副会長
中央3丁目

ご高齢のかたや独り暮らしのかたなどが、災害の犠牲にならないように、家具転倒防止金具無償取り付けを行っています。また、町会の防災訓練では、バケツリレーや各世帯に配布してあるパール（L字形のくぎ抜き）を使った倒壊家屋からの救助など、自分たちでできることを高める訓練をします。困ったときに助け合う心が、防災のかなめですから。

真特殊工事が必要な場合、材料費など実費をいただくことがあります。

この取り組みは、2年前に町会で防災調査を行ったとき、その設置率が低かったことがきっかけでした。高齢者など、器具をご自身で取り付けることが困難なお宅には、



▲家具転倒防止金具を取り付ける自主防災会

町会に所属する工務店のかたが、家具転倒防止金具を設置するので安心です。同町会では、日ごろからもしもの場合に備えて、声をかけながらともに協力し合っています。

防災の意識を高める 民生児童委員の活躍

また、皆さんのさまざまな悩みごとに対して相談などを行い、ご本人や家族がみずから立ち上がる努力を援助している民生児童委員の皆さんは、市内各地区に117人いらっしゃいます。皆さんは、現在、75歳以上のかただけでお住まいの世帯を対象に、高齢者実態調査を実施しています。この調査は、今後、災害が起こったとき避難が困難な高齢者を把握し、地域の皆さんで支え合うしくみを作っていこうと考えています。

1人1人の力ではどうにもならないことでも、地域の力を結集すれば、大きな成果をもたらすことが可能になります。

災害からまちを守る 消防団にぜひ参加を

そして「公助」は国や市町村など、行政を中心とした災害への応急対策や活動のことです。

その1つに、「自分たちのまちは、自分たちで守る」との精神で活動する消防団があります。6つの分団で計95人が所属する消防団は、市の消防機関の1つです。消防団員の皆さんは、ほかに職業を持ちながら地域住民のために活躍されています。その任務は、地域を火災や風水害などから守ることのほか、災害時には消防署などと連携し、活動します。

蕨市消防団は、市内にお住まいの18歳から54歳までの健康なかたならどなたでも入団できます。興味をお持ちのかたは、消防本部総務課（☎441・0119）へお気軽にご連絡ください。

地域の皆の 幸せ取り持 つ民生委員



おがわ ちゅうたろう
小川 忠太郎 さん
南町3丁目

南町地区では、民生児童委員や交通安全指導員、高齢者クラブ、PTA、学校関係者からなる「南町の防災を考える会」を昨年8月に発足し、毎月、災害時の対応策を話し合っています。今その取り組みの1つ、高齢者や障害者の安全確保のための調査を行政を行っています。地域の皆さんが安全で安心な生活を送れるよう、調査協力をお願いします。

▲高齢者宅を1軒1軒調査する民生児童委員



ほっと・エッセイ 15

読書の秋

市長 頼高英雄

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、など、秋は何をやるにもすばらしい季節ですが、今回は読書の秋についてです。

10月27日から11月9日までは「読書週間」です。私は読書が好きです。子どものころは、外で遊ぶほうが好きなタイプでしたが、それほど、本は

読みませんでした。今から思うと、子どものころもっと本を読んでおけばよかったな、と思います。が、そのせいか、学生時代から、本をよく読むようになった。

本の魅力は、過去の人々との対話、心を揺さぶる感動など、いろいろですが、私は、なんといっても、

自分の頭で考える力がつくことだと思っています。それだけに、子どもたちには、たくさん本を読んでもほしいと思っています。そのためには、私たち大人自身が、日ごろから読書に親しむことがたいせつです。私のブログには、私が読んだ本の感想なども書いていますが、

「読書週間」では、ぜひ、各家庭で1人1冊ずつ、本を読んでみてはいかがでしょうか。蔵市立図書館が10月1日からリニューアルしました。ぜひ、ご利用ください。

お便りお待ちしております

蔵市役所
秘書広報課広報広聴係

〒335-8501 蔵市中央5-14-15
TEL 433・7703 FAX 445・0586
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

「広報蔵」へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。

▶ 昨年の防災演習で放水を実施する消防団（中央小学校）



まちを守る
尊い精神を
次の世代へ

ながい だし
永井 忠士 消防団長
錦町2丁目

消防団に入団して43年ですが、父親も消防団員でしたので、出動の身支度を家族で手伝うなど、防災に対する意識は幼いころから根付いていました。また、昔は戦争に従事されていた人も多く、火災時に近所の人たちの連携が素早いのは感心したものです。消防団の高齢化と人員確保が難しい今、若い人にもまちを守る精神を引き継ぎたいと思います。

登録制度で安全確保

消防本部では、市民の皆さんの安全な暮らしを支えるため、災害防除活動や火災予防を行っています。また、要介護認定を受けているかたや視聴覚障害のあるかたなど、自力で移動や避難が困難なかたを速やかに救助できるように、災害避難困難者の登録制度を設けています。

この制度に登録したかたは、火災などの通報があった場合、災害発生現場付近に住む災害避難困難者として、消防隊員や消防団などにより、救助活動や避難対策を円滑に実施できるとともに、皆さんの安全確保にいつそ

う最善を尽くすことができますようになります。

登録を希望されるかたは、市役所1階の市民活動推進室や各公民館にある「情報提供カード」に必要事項を記入して、消防本部警防課（錦町5-1-22 ☎441・0173）へご提出（郵送可）ください。

「災害予測図」を作成

また、現在、市では地震ハザードマップ（災害予測図）の作成に取り組んでいます。

災害に対して危険な場所を表示する地震ハザードマップは、震災が発生したときの避難経路など、地域に密着した情報を盛り込む予定です。今後、

皆さんと考えながら作っていきたくと考えています。各5地区（右表）でワークショップを開催しますので、参加を希望するかたは、安全安心推進課（☎433・7755）へお申し込みください。

市民1人1人の防災に考えています。

ハザードマップ作りのワークショップ日程

地区名	日時	会場
中央地区	12月6日(土) 午前10時～11時半	中央公民館 1階 集会室
錦町地区	12月6日(土) 午後2時半～4時	西公民館 2階 集会室
北町地区	12月6日(土) 午後6時～7時半	北町公民館 2階 集会室
塚越地区	12月7日(日) 午後2時半～4時	けやき荘 集会室（和室）
南町地区	12月7日(日) 午後6時～7時半	南公民館 3階 集会室

ワークショップ：参加者が専門家などの助言を得ながら共同作業で課題解決のために行う研究集会

晴れた日は自転車で



リポート そこが知りたい

〈61〉

ルール守り快適な自転車生活

市域が狭く、坂道が少ない蕨市では、自転車がとても便利な乗り物として多くの市民に利用されています。しかし、一部の利用者が放置した自転車によって困っている人がいることも事実です。今回のリポートは放置自転車の問題についてです。

しかし、撤去によっていったんはきれいになっても、数時間後に訪れると、もう自転車が並んでいるなど、市もその対策に頭を悩ませています。

放置で発生する問題

放置自転車はなぜ問題となるのでしょうか。

第1に、まちの美観を損ねます。まちのイメージを下げ、ごみのほい捨てや、自転車の盗難をはじめとする、犯罪の増加にもつながります。蕨市は犯罪発生率が県内の市区町村でワースト2位ですが、その内の約3割が自転車の盗難です。

また、車や歩行者の通行が妨げられます。特に、高齢者や障害のあるかたにとっては迷惑で危険です。緊急車両が通行できなくなれば、救急や消

防など、万一のときに人命を左右する事態まで起こりかねません。

まちの困った障害物

「4年前に蕨市に引っ越してきたときは駅前

の放置自転車の数に驚いた」というのは、小林長太郎さん（錦町1丁目・81歳）です。ウォーキングが日課の小林さんですが、駅前を歩くと、かばんや服がひっかかって、危険を

感じることもあるそうです。「高齢者は転倒から寝たきりになることも多いと聞いている。自転車を利用する人にはモラルを持ってほしい」とおっしゃいます。

また、視覚障害のある勝亦博子さん（南町4丁目・69歳）は「放置自転車があると、1人で外出するときに、とても困る」とおっしゃいます。勝亦さんは縁石を白杖でたた

いて、道を確かめながら歩くそうですが、歩道に自転車放置されていると、それができず、道の様子が変わらなくなってしまうそうです。

高齢者や障害者の皆さんが住みやすいまちを目指し、段差の解消や点字ブロックの整備など、社会のバリアフリー化が求められる現代。蕨駅でも来年度にはエレベーターが設置される予定です。その一方で、駅前が心ない自転車利用者によってこうした状況にあるのはとても残念なことです。

利用はルール守って

ルールを守っていただければ、自転車は便利で、環境にも優しく、経済的と長所の多い乗り物です。

市の助成制度などにより、駅前には民間の駐輪場も増え、一時利用と月ぎめで、合計4000台分以上あります。市民の皆様さんには、こうした駐輪場も活用していただき、きれいで安全、そして住む人にも訪れる人にも優しいまちの実現にご協力いただきたいと思います。



細い路地を更に狭める放置自転車(塚越1丁目)

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課（☎433・7703）へ。

〔参加しませんか〕

▼介護予防のための健康講座（健康太極拳わかば）13日、12月11日 毎週木曜日 午後1時 市民体育館 おおむね60歳以上 参加費500円（全5回）

▼30人太極拳で転倒防止直接会場へ（大滝・☎45・6964）

▼社交ダンス1か月無料講習会（入門）日曜日 午後1時半 福祉・児童センター（内田・☎46・2612）

▼〔仲間になりませんか〕JAMBO（親子エアロビクス）第1・2・3月曜日 ①午前10時半 親子リトミック ②午前11時 母親エアロビクス 中央公民館 親子（1歳以上）入会金1000円 1回500円 託児あり 親のみの参加も可 随時体験可（鍋島・☎090・9156・0917）

▼美健クラブ（ヨガ）第1・2・3土曜日 午前10時 南公民館 月1800円（白川・☎42・2555）

▼ニンハオ校（中国語教室）①月曜日 午後1時半 南公民館 ②土曜日 午前10時 中央公民館 月2000円（各コース）（小出・☎45・8600）

▼ミッキーキッズ（親子体操）水曜日 午前11時 市民体育館 未就園児と親月1500円 随時無料体験可（細川・☎090・4077・8732）

☎090・4077・8732



アレクサンダー
ブライトさん

イギリス
北町5丁目・32歳

この まちに 暮らして

ま・ち・の・話・題・酷

昨年7月に蕨へ引っ越してきたブライトさん。イギリス西部の港湾都市ブリストルの出身です。イギリスは、古くから景観に対する考えがしっかりとあり、かつて港町として栄えたブリストルには、歴史を感じさせる建物が数多く残っている

そうです。そんなブライトさんのお気に入り、宿場の歴史を今に伝える中山道界隈。ここを歩いていると、故郷を思い出します」と、都市化が進むなか、歴史的景観に配慮したまち並みづくりに取り組む地域の皆さんの姿に、故郷を重ねていました。

この数な～に 100%

毎回5,000食。市内小・中学校10校分の給食を作っている学校給食センターでは、献立にいろいろと気を遣っています。スパゲッティやハンバーグなど、子どもたちに大人気のメニューだけでなく、毎月、いも煮などの日本の郷土料理も取り入れています。また、年に数回、地元の農家の皆さんが丹精込めて作った、新鮮な野菜を味わってもらったり、100%埼玉県産のお米を使ったりして、食材にも気を配っています。安全で栄養バランスの取れたおいしい給食を、今後も皆さんにお届けしていきます。

生涯学習に取り組む皆さんが集う、生涯学習フェスティバルが、市内7地区で開かれました。南町は南公民館を主会場に10月4日と5日に開かれ、1700人が参加。作品展やコンサート、講演会などを通して生涯学習への関心を高め、地域の触れ合いを深めていました。

子育て中のママを対象にしたカラーセラピー教室が、10月7日、福祉・児童センターで開かれました。インテリアや洋服など、選んだ色で体感温度が変わったり、心がいやされたりする不思議な効果に興味津々の皆さん。「お部屋の模様替えが楽しみ」と、大張り切りでした。

「蕨・独リンデン市民交流協会」を中心に、30年の市民交流がある友好都市、ドイツ・リンデン市民38人が、10月3日に蕨市を訪問。滞在中は記念行事が開かれたほか、東中学校を見学し、和楽器・神社例祭でみこしを担ぐなど、蕨市民と交流を深め、17日に帰国しました。

10月18日、中央東小学校で、地域の交流を深めようと「ふれあいまつり」が開かれました。バザーや射的などのゲーム大会のほか、出まわしゲームのほかに、爆発音がするポン菓子の実演販売など、同校のPTAが趣向を凝らした催しに、約800人の皆さんでにぎわいました。

お化けや魔法使いに扮装した子どもたちが近所の家々を訪ね、あめやラムネなどのお菓子をもらっていました。これは中央2丁目土橋町会で10月24日に開かれたハロウィンです。今年で第2回目を迎え、だれもが参加できる祭りに発展して、地域の触れ合いが更に広がりました。

学びと触れ合いの祭り



色の持つ不思議な効果



リンデン市から訪問団



中東小ふれあいまつり



交流広がるハロウィン



- ▼悠々(絵手紙) 第2・4土曜 午前10時 北町公民館 月1500円 初心者歓迎
- ▼迎へ平田・442・2346 迎へ千草俳句会 第2・4木曜 午前9時半 中央公民館 月2000円 初心者歓迎
- ▼迎へ田嶋・443・4821 迎へ楊名時(太極拳) 土曜 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セ1スビル 月4500円 随時体験可 浦島・224・5915
- ▼レインボーパソコンクラブ 土曜 午後6時半 中央公民館 月2000円 初心者歓迎 吉川・444・7936
- ▼イースト(デッサン) 第1・3月曜 午前9時半 東公民館 3000円(6回分) 東公民館・442・4052
- ▼ローズサークル(フランス刺しゅう・手芸一般) 第1・3金曜 午前10時 中央公民館 月1500円 古田・445・2180
- ▼むつみダンスクラブ(社交ダンス入門) 木曜 午前9時半 福祉・児童センター 1か月無料講習 香山・443・9482
- ▼蕨市シルバー人材センター会 員募集 平日 午前8時半～午後5時15分 おおむね60歳以上 同センター・443・0962
- ▼「ご相談ください」
- ▼アルコール依存症の自助活動 月曜 午後7時 中央公民館 お酒をやめたい人 浦和・03・5957・3506
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 4日 中央公民館 12日 南公民館 20日 旭町公民館 午後6時半 岡田・441・3172

今も残る母の言葉 花から広まる喜びの輪

アメリカンフラワーをはじめ、物作りで感じた喜びをみんなで分かち合いたいと願う、津久井榮子さんをご紹介します。

お花とともに歩む

東公民館の入り口に、緑色に輝く透明な葉をつけた、白いボタンの造花が飾られています。利用者の皆さんから「雰囲気が出るくなった」と評判の、アメリカンフラワーと呼ばれるこのお花。「お世話になってる公民館が少しでも華やかになれば」とほほえむ、津久井榮子さん（塚越5丁目・68歳の作品の1つです。5年前に一度だけ開かれた、公民館の講座でア

物作りに自然と願もほころぶ津久井さん



メリカンフラワーと出会い、その魅力を知った津久井さん。以来週2日、先生の下で腕を磨きまわした。ありのままを表現したいという思いで、実際にお花畑や植物園に足を運ぶところから作品作りが始まります。ワイヤーで花びらや葉の形を作り、薬品を使って1枚1枚思い通りの色が出るまで何度も色付けをします。完成させるのに最短で1か月。太いワイヤーを切るなど力作業のときは、夫義一さんのサポートを受けながら、大好きなお花の出来上がりを見て楽しみながら進めます。

こうして手間や時間をかけて完成させた数々の作品。津久井さんはその大半を、気に入ってくれたかたに快く差し上げるそうです。「喜んでもらいたい」。そんな気持ちにさせる理由が、母の言葉にあります。「思いやり、優しさ、すなおさを持ちなさい」と教えられてきたことが、今でも津久井さんの原点のようです。住職の家に生まれた父の厳格な教えの下で、幼いころから華道や茶道、書道などを通じ、礼儀作法を身に付けていった津久井さん。そのころから特にお花に興味を持ちはじめ、生け花やリボンフラワーなど、創作範囲を広げながらお花とともに人生を歩んできました。

喜ぶ姿が見たくて

培ってきた技術や知識を生かして、津久井さんが新たに作り組んでいるのは、生活のなかで簡単に手に入り、手軽に始められる作品作り。「物が無い時代に生まれた私たちにとって、捨てるものはないんですよ」と、津久井さんは話します。

牛乳パックを使ったカード入れや腰掛けなどは、環境への思いやりから始めたもので、子どもたちに作り方を教えることもあります。ほかに、和紙を使っ



優しいの伝わる作品の数々



「すてきな花ね」と利用者からも好評

乳幼児の誤飲・誤嚥

小児救急 ワンポイント アドバイス

誤飲は大きすぎる食べ物や異物を誤って胃食道に飲み込んでしまうこと、誤嚥は気管や肺に食べ物や異物を吸い込んでしまうことです。

子どもが手でつかんだ物を口の中に持つていくようになるのが、生後およそ3〜4か月ごろで、食べ物と、そうでない物が区別できるようになってくるのが、早くても1歳6か月〜2歳くらいといわれています。

事故防止のポイントは、
①乳幼児の口に入る直径39ミ（トイレットペーパーのしんとほぼ同じ大きさ）以下の物は乳幼児の手の届かない所に置く。
②乳幼児が飲み物と間違わないように、空き缶やペットボトルをたばこの灰皿代わりに使わない。
③食べ物硬くなく、丸くなく、大きくないこと

蕨 いま むかし

- 291 -

北町2丁目の
鹿家前庚申塔

語る人



ほり え きよたか
堀江清隆さん
47歳

庚申塔は、江戸時代に盛んだった庚申信仰（60日ごとに巡ってくる庚申の日に、夜を徹して健康長寿を祈った）に基づいて建てられた石塔で、現在も市内には24基、残っています。中でも、3番目に古いとされるのが、北町2丁目にある鹿家前庚申塔です（一六七四年



むかし



いま

造立）。昔の写真は、昭和40年代でしようか。区画整理が行われる以前は、和楽備神社から三学院へは、旧鎌倉道の支道と呼ばれた一本道でつながっていました。写真は、現在の保健センター付近から三学院方向を写したものです。手前に見えるのが庚申塔で、私の母方（鹿家）が、支道を挟んだ両側の土地を所有していましたので、代々、我が家で管理をしていました。宗教行事の一環として造立された庚申塔ですが、当時は、道の神様としてあがめられていました。ちようどこの庚申塔のある場所が、町会の旅行な

どで利用するバスの出発地だったので、運転手は必ず、旅の無事を祈ってから出発していました。また、三学院に向かう人たちが、足を止めてお供えをする姿もよく見かけました。

今の写真は、現在の様子です。換地によって三学院へ続く一本道はふさがりましたが、庚申塔は、場所を移されることなく道の神様としてひっそりと、地域の安全を見守っています。



市民サービス



Q & A

男女共同参画パートナーシッププラン

Q 男女共同参画市民意識調査が行われたそうですが、その目的は？
A この調査は、平成16年に男女共同参画パートナーシップ条例に基づいて作られた計画を見直すため、市民の皆さんの意識や実態を把握する目的で行いました。

Q どのような調査でしたか。また結果は？
A 住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の1000人のかたにお願いし、315通の回答を得ることができました。その内62・2%のかたが、男女共同参画について関心があると回答し、その高まりを感じました。

Q 詳しい結果を見たい場合は？
A 市ホームページや市役所市民活動推進室、公民館で御覧になれます。

Q 見直しをする男女共同参画パートナーシッププランとは、どんなことを目指す計画ですか？
A 女性だから、男性だからと差別をしたり、役割や仕事を決めたりせず、1人1人を尊重し、それぞれ責任を持って、みんな幸せになるように協力して住みよいまちづくりを目指すプランです。

Q プランの内容を市民皆さんで検討する会を開くそうですが、だれでも参加できますか？
A はい。「みんなで男女共同参画プランを作る会」では、諮問機関である男女共同参画推進委員会と協議していただいたものを案としてお示しします。どうぞお気軽にご参加ください。

Q みんなで男女共同参画プランを作る会／①20日（木）午前10時 ②21日（金）午後7時 いずれも中央公民館 託児あり（事前申し込み制） 詳細は市民活動推進室（☎433・7745）

吐かせてはいけない場合

- 意識がない場合
- 生後6か月以下の乳児
- 灯油・シンナーなど揮発性油類の誤飲
- トイレ用洗剤や排水パイプ用洗剤など強酸性のもの、台所用や衣類の漂白剤など強アルカリ性ものの誤飲
- 画びょう、針など鋭利な物の誤飲

に留意して、年齢に合った形状の物を食べさせる。次に、いざというときのために、異物による気道閉塞「窒息」の解除法の1つである「背部叩打法」をご紹介します。

①片方の腕に腹ばいになせ、上半身が低くなる姿勢にし、あごを手に乗せた後、突き出すようにします（行うときはいすなどに座って体勢を安定させましょう）。

②もう一方の手で、肩甲骨の間を3〜4回、素早く強めにたたきます。ただし、誤飲しても吐かせてはいけない場合があります。最後に左表を御覧ください。



気道がふさがった状態が5〜6分続くと死亡してしまいます。一刻を争うような救急法を覚えておきましょう。

家から一歩外に出て 不安や悩みを解消 笑顔広がる子育て支援

子育ての不安や悩みから、ストレスを1人で抱えていませんか。市では、妊娠・出産、子育てに関するさまざまな支援が広がっています。今月は、市のサービスを利用して、充実した子育てを実践中の山田明子さん（北町在住・右写真）にお話を伺いました。

親と子の ニュースの 小窓



ママの笑顔が子どもを健やかに

そこに行けばだれかがいる 安心感

お父さん 今日の新聞の投稿欄に出ている人、ひよっとしたらご近所の山田さんじゃないかなあ？
お母さん どれどれ…
「出産や育児は周囲の支えで／山田明子さん」。
「引越してきたばかりのころは、近所に知り合いは1人もなく、実家も遠いので、（育児など）とても不安でした。でも、市の保健センターや児童館、保育園などで開かれ

周囲の温かさが子育て環境を良好に

ワラビ お母さん。山田さんが閲覧板を持ってきたくれたよ。

お母さん あら！こんなに。今日の新聞に出ていたのって山田さん？
山田さん はい。蕨は小さなまちですが、「子育てを応援してくれる場がたくさんあってよかったなあ」と感じたもので…。
お母さん そうだったの。山田さん 初めて参加した保健センターの両親学級で、出産前に妊娠・出産

る各種講座や開放日に、子どもと参加するように努めたおかげで、さまざまなかたがたにお会いできました。そのかたがたのちよつとした言葉に触れて、うれしさと安堵感から、こみあげる涙をこらえたことが何度もあります。…そこに行けばだれかがいると知っているだけでも新米の親にとってはたいへんな違いなのです」。(文章の一部抜粋)

のことを学んだり、同じ妊婦さんたちと話したりする機会ができて、ほっとしたのを覚えています。
お母さん 保健センターって、健診や予防接種で行くだけじゃないのね。
山田さん ええ。先輩ママたちから、いろいろお話を聞ける講習会や子育て中のママが集まるクラブなどもあるんですよ。
お母さん いろんな輪が広がりそうね。
山田さん はい。今では

児童館で開かれているママたちの交流の場、「ママのティータイム」や地域子育て支援センターの年齢別の集いなどにも足を運んで、皆さんといっしょに育児を楽しんでいます。
お母さん いいわねえ。
山田さん 保健師さんや保育士さんたちも親切で、例えば北町の地域子育て支援センターでは、利用者の皆さんが「最近、食べ

物による子どもの窒息死が多くて心配」と話していたところ、すぐに救命講座を開いてくれました。
お母さん ありがたいわ。
山田さん 出産や育児には、金銭的な支援もたいせつですが、温かく見守ってくれる社会と周囲の人々の存在が欠かせないと思っています。
お母さん そうね。お互いの支え合いが大事よね。



山田さんが育児相談や情報交換の場の一つとして、利用している地域子育て支援センター「こっこびよ」。さまざまな子育て支援情報の詳細は、毎月のお知らせ版・本紙「赤ちゃんメモ」で



「ガーコン」でびっくり脱穀体験 子どもクラブ

東小学校

昭和初期に活躍していた、足踏み式脱穀機「ガーコン」。ドラムが回る音にちなんでこう呼ばれていました。これまで、校庭で田植えや稲刈りなどを学んできた東小学校の5年生55人が、今も学校に残る貴重な農具を使って、先月17日に稲の脱穀に挑戦しました。懸命にペダルを踏み、ごう音を響かせて回転する針金に稲を擦り付けます。パラパラと飛び散る米粒に「気持ちいい」と、笑顔いっぱい。こぼれた一粒一粒を大事そうに拾い上げた子どもたちは、新米で作るおにぎり会を楽しみにしています。

●プレマ講座「妊娠中のママたちへ」1月29日(木) 午後1時半 産婦人科医師による妊娠・出産についてのお話、先輩ママとの交流会 ※電話でお申し込みください。

●赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているがき)を送りください。

内容
・保健師、助産師による
・赤ちゃんの身体計測
・発育や育児についての相談
・お母さんの産後の相談

●新生児・産婦訪問指導／対象
●赤ちゃんが産まれてから4か月児健診の前月まで(第2子以降のお子さん可)

●対象年齢を過ぎても90か月未満まで受けられます。持ち物

●予診票・母子健康手帳 受ける前に、冊子「予防接種と子どもの健康」を必ずお読みください。体温は当日、会場で計ります。●次回は来年5月ごろを予定しています。

	とき・対象児	受付時間・ところ
4 か月 児健	11月5日(水)・6日(木) 平成20年6月生まれ	
1歳6か月 児健	11月11日(火)・12日(水) 平成19年4月生まれ	午後1時～1時45分 保健センター
3 歳 児健	11月14日(金)・21日(金) 平成17年10月生まれ	
4歳6か月 児健	11月20日(木) 平成16年4月生まれ	午後1時15分～2時 保健センター
1 歳 児相	11月5日(水)・6日(木) 平成19年10月生まれ	午前10時～10時半 保健センター

●乳幼児健康診査・相談／対象
●お子さんには個人通知しています。持ち物 母子健康手帳、問診票 ※対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

とき	内容
11月	
1 4日(火)	妊婦・産科・健康診・保健
2 10日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
3 15日(土)	お産の経過・沐浴実習
	時間はいつでも 午後1時半～4時

●両親学級／費用 400円(テキスト代) 持ち物 母子健康手帳、筆記用具 ※電話でお申し込みください。

●離乳食講習会／13日または19日 時間 午前9時45分～11時45分 内容 離乳食の上手な進め方と作り方、試食 対象 平成20年7月生まれの第1子の保護者 託児 先着10人 持ち物 母子健康手帳、筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

●母子健康手帳・筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物 ところ 申し込み 保健センター

10月13日から18日まで西公民館で開かれた、錦町地区合宿通学の参加児童21人は、16日、錦町コミュニティ委員会「花と緑の推進員」の皆さんの

合宿通学で鉢植え体験



優しさの「環境行動」

指導で花の鉢植えを行いました。ごみのほい捨てを防止し、景観美化を進めるとともに、住民が交流するきっかけにしようと、錦町地区に9か所の花壇を整備している推進員の皆さん。この日は、地域の子どもたちに花をたいせつにする心をはぐくんでほしいとセイヨウサクラソウの苗をプレゼント。児童たちは慣れない土いじりに戸惑いながらも、きれいな花が咲くことを願って1つ1つ鉢に移植し、小さな自然との触れ合いを楽しんでいました。

「このごろ、『暑い』や『アップ』など、2つの母国語を発するようになったラッセル。父親は英語、私は日本語で話す環境で、いつ、どんな言葉も覚えていくか心配していません。できるだけ世界を広げてあげたくて、



しん
ラッセル心ちゃん
(1歳4か月)

ラビドウ・ロバートさん
おおで ひろこ
大出 博子さんの
長男
南町2丁目

わが家のアイドル

—441—

赤ちゃんメモ

(問) 保健センター
(☎ 431・5590)

ひと 輝いています

ドラマー兼ソングライター

いわさき まさし
岩崎 雅史 さん

全

身を巧みに使いドラムを演奏する岩崎雅史さん(錦町2丁目・30歳)。ドラムというロックのような激しいスタイルを想像しますが、岩崎さんの奏でるドラムは、ことなく優しい音色です。小学6年生からドラムを始め、本格的に学ぶべく音楽専門学校に進学。そこで出会った仲間と7年前に「full-ricca」を結成しました。このバンドで岩崎さんは作曲を担当。曲作りでぶつかり合うメンバーをまとめました。また、「ドラムは影響力の強い楽器。ボーカルのよさを消さないように、でもここぞつてときにはしなける」。ドラマー、岩崎さんの原点はここにあったのです。精力的にこなしたライブは各方面から好評を得ました。しかしメジャーデビューを目前に控えた3年前、メンバーの脱退で解散を余儀なくされました。優しい岩崎さんはそのとき「NO」と言えなかったのです。

経験を糧にメジャー再挑戦



広報蔵 六八四号 平成二十年十一月一日発行 毎月一回発行 印刷・株式会社

音楽の道を断念し、ライブハウスに勤めた岩崎さんでしたが、自分以外のバンド演奏を目の当たりにする日々は、つらいものでした。自問自答を繰り返した岩崎さんは、「もう一度、メジャーを目指す」。昨年、岩崎さんは会社を辞め音楽人として再スタートを切りました。各地のライブにサポートドラムとして参加する傍ら、パソコンゲームに楽曲を提供するなどソングライターとしても活動の場を広げています。30歳を迎え再挑戦に不安を覚えることもあるそうですが、回り道した分、きっとそれが糧となり、音楽人として大輪の花を咲かすでしょう。

ぷらっと・わらび・小さな旅

市民体育館

体育の日の10月13日、西ルート5番停留所、「市民体育館」で下車すると、同館内はジャージ姿の老若男女であふれています。この日は年に一度の「新体力テスト」の日。保健体育課で、20〜79歳を対象に実施しているこのテストは、握力や上体反らしなど計6項目の測定を行い、年

齢に応じた総合評価や体力年齢がその場で分かります(65歳以上は総合評価のみ)。今年は67人が腕試しとばかりに挑戦。その結果は：日ごろの運動不足を痛感する人が多かったようです。さて、皆さんの健康づくりをサポートするのをご市民体育館です。開放感あふれる3階の競技場をはじめ、ジム器材をそろえたトレーニングルーム、卓球ができる小体



市民体育館で行われた新体力テスト



わらびの野鳥・虫・草

ホソアオゲイトウ

10月中旬のある日、改修工事が終わったばかりの図書館前の通りで、ものごとく密集した花が特徴的なホソアオゲイトウを見つけました。南アメリカ原産の大型の1年草で、写真の株は1株に満

たない小ぶりなものでしたが、大きなものは高さ2メートルにも達します。花期は7月〜10月ごろで、長い茎の先や葉のわきからたくさん緑色の花を穂状に付けます。ネコジヤラシの別名でもおなじみのエノコログサの穂と似て、道端で秋の風に吹かれていました。

広報に載っている写真を希望者に差し上げます 秘書広報課広報広聴係までご連絡ください